

海軍公報

第二千八百六十號

昭和十一年九月十四日(月)

海軍大臣官房

○雜款

橫須賀

十一日

○特務艦隱戸行動豫定

地名 着

九月發
九月十九日

吳 德 廣 山
九月十六日
九月二十七日
九月二十九日
九月三十日

○郵便物發送先
特務艦隱戸宛

九月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ 吳 德 山
其ノ後ハ

特務艦知床宛

九月十五日迄ニ到達見込ノモノハ 橫 須 賀
同 十九日迄ニ 吳
同 二十一日迄ニ 佐 世 保
同 二十五日迄ニ 西 戶 崎
同 十月一日迄ニ 舞 戶 鶴
同 十月五日迄ニ 西 戶 崎
同 十月七日迄ニ 吳 須 賀
其ノ後ハ

○特務艦知床行動豫定

地名 着

九月發
九月十六日

橫 須 賀 社
九月十七日
九月十九日
九月二十一日
九月二十三日
九月二十八日
十月四日
十月七日

○出發

歐洲 各國 出張
海軍大佐 柴田彌一郎
九月十五日午後三時東京驛發
同十九日門司發
白山丸

海軍公報 第二千八百六十號 昭和十一年九月十四日

八八九

○電話番號變更
軍令部課長海軍大佐金澤正夫宅（大森區馬込町東二ノ
九八八）
大森 七二三四番

○赴任
海軍艦政本部造船監督官海軍造機少佐下條英夫ハ來ル
九月二十二日横濱出帆ノ日枝丸ニテ米國ニ向ケ出發ノ
豫定

○艦船所在

指印ハハカ
定ヲ要セズ

○九月十四日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、金剛▲、陸奥、大鯨▲、高雄▲、摩耶▲、比叡、▽殿島

沖風、矢風、峯風▲、曉▲、沙風▲、白露、時雨伊四▲、▽伊七〇、伊六八、伊六九

掃四▲

富士▲、尻矢、知床、野島

(鈴谷)▲、(劍崎)▲、(高崎)▲

【長浦】

夕霧、▽狹霧

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五八▲、呂五七▲、呂五九▲、▽伊二三、伊二四

▽掃六、掃五、掃三、掃二、掃一

【石川島】

(鴨)▲

(隼)▲

【浦賀】

(五月雨)▲、(山風)▲

【館山】

▽長門、扶桑、▽榛名、霧島、▽川内、神通、長良、▽阿武隈、▽迅鯨、▽龍驤、鳳翔、▽妙高、那智、初黑、▽青葉、衣笠、古鷹、▽那珂、▽鬼怒、▽加賀

澤風▲、▽子日、初春、若葉、初霜、▽睦月、卯月、彌生、如月、▽長月、水無月、皁月、文月、▽松風、朝風、春風、旗風、▽綾波、

浦波、敷波、▽響、雷、▽東雲、磯波、吹雪、▽天霧、朝霧、追風

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊六六、伊六五、伊六七

鶴見

【木更津】

▽疾風

【伊勢灣】

▽山城、日向、▽鳥海、愛宕、足柄、▽北上、大井、木曾、▽名取、▽五十鈴、▽長鯨、能登呂

▽有明、夕暮、▽菊月、三日月、夕月、望月、▽夕風、島風、灘風、▽朧、曙、潮、▽初雪、白雲、▽白雲、叢雲、薄雲

▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、伊六一、伊六二

鳴戸

【大湊】

▽神風、沼風、野風、波風

大泊

【吳】

▽矢矧▲、韓崎、▽淺間、伊勢▲、天龍▲、最上、白鷹

夕顔、▽藤、薄、菖

▽呂五一▲、呂五三▲、▽呂六八、呂六三、呂六四、呂三三、▽呂二六、呂二八、呂二七、伊七一、伊五一、▽伊二二、伊二一、伊五五、伊六

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

石廊、攝津、朝日

蒼龍、(伊七)▲

(村雨)、(鶴)▲

【大阪】

春日▲

【相生】

(伊七二)▲(伊七三)▲(伊八)▲(呂三四)▲
眞鶴▲千鳥▲

(沖島)▲

【江田内】

平戸

【舞鶴】

吾妻▲

伊五二▲

友鶴、初雁

【佐世保】

(春雨)▲、(鴻)▲
赤城▲、加古▲、龍田▲、常磐▲、▽由良▲

八重山

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、檜▲、菱▲

葦▲、藜▲、蓬▲、栗▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、
呂六六

敷島▲、早鞆、間宮▲

(夕立)▲

三隈▲

【長崎】

羽風、秋風、太刀風、朝顔

【馬公】

【鎮海】 檜、柿、葎

【旅順】 葵、萩、菊

【營口】 淀

【上海】 出雲

吳、松、夕張

【南京】 梅

【漢口】 安宅、堅田、熱海、勢多、保津

【重慶】 比良

【馬尾】 帆風

【北海】 若竹

【作業地】 八雲、磐手

【朝風】 夕風

膠州、洲崎

【航海中】

隱戸 (九日吳發)「オハ」()

佐多 (十日佐世保發)「オハ」()

鳥羽 (十一日漢口發)長沙()

二見 (十一日漢口發)宜昌()

早苗 (十二日香港發)廣東()

室戸 (十二日佐世保發)横須賀()

芙蓉 (十三日馬公發)海口()

多摩 (十四日鹿兒島發)萩()

襟裳 (十四日徳山發)廣()

(部内限一頁、同附録六頁)

海軍公報

第二千八百六十一號

海軍大臣官房

昭和十一年九月十五日(火)

○辭令

○昭和十一年九月十五日

任海軍技手

給月俸七拾圓

山本 功

三浦 清

上村 幸一

原田 忠夫

(各通)

任海軍技手

給七級俸

吳海軍工廠附ヲ命ス 海軍技手 山本 功

吳海軍工廠勤務ヲ命ス 同 三浦 清

(各通)

同 上村 幸一

同 原田 忠夫

○雜款

吳海軍工廠附ヲ命ス(以上^{以上}海軍省)

○旗艦指定

佐世保防備戰隊司令官ハ自九月一日 至九月十日 旗艦ヲ一時八重山ニ指定セリ

○將旗移揚

第十一戰隊司令官ハ本月十一日蓮ヨリ安宅ニ將旗ヲ移揚セリ

○特務艦襟裳行動豫定變更(八月七日)

地名 着

德山 九月十四日

廣山 九月十五日

德山 九月十六日

廣山 九月十七日

發

九月十四日

九月十五日

九月十六日

九月十七日

○艦船所在

指定ヲ要セス

○九月十五日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、金剛▲、大鯨▲、高雄▲、摩耶▲、陸奥、比叡、▽殿島

沖風、矢風、峯風▲、曉▲、汐風▲、白露、時雨伊四▲、▽伊七〇、伊六八、伊六九

掃四▲

富士▲、尻矢、知床、野島、室戸

(鈴谷)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

夕霧、▽狹霧

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五八▲、呂五七▲、呂五九▲、▽伊二三、伊二四

▽掃六、掃五、掃三、掃二、掃一

【石川島】

(鶴)▲

(第)▲

【浦賀】

(五月雨)▲、(山風)▲

【館山】

澤風▲

【伊勢灣】▽山城、日向、▽鳥海、愛宕、足柄、▽北上、大井、木曾、▽名取、▽五十鈴、▽長鯨、能登呂

▽有明、夕暮、▽菊月、三日月、夕月、望月、▽夕風、島風、灘風、▽朧、曙、潮、▽初雪、白雲、▽白雲、叢雲、薄雲

▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、伊六一、伊六二

鳴戸

【大湊】▽神風、沼風、野風、波風

大泊

【吳】 矢矧▲、韓崎、▽淺間、伊勢▲、天龍▲、最上、白鷹

夕顔、▽藤、薄、葛

呂五一▲、呂五三▲、▽呂六八、呂六三、呂六四、呂三三、▽呂二六、呂二八、呂二七、伊七一、伊五一、▽伊二二、伊二一、伊五五、伊六

▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

石廊、攝津▲、朝日

(蒼龍)▲、(伊七)▲

(村雨)▲、(鶴)▲

春日▲

【大阪】

(伊七二)▲、(伊七三)▲、(伊八)▲、(呂三四)▲

【神戸】

(沖島)▲

【相生】

真鶴▲、千鳥▲

【江田内】

平戸

【舞鶴】

吾妻▲

伊五二▲

▽友鶴、初雁

海軍公報 第二千八百六十一號 昭和十一年九月十五日

八九五

【秋】多摩
 【佐世保】赤城▲、加古▲、龍田▲、常磐▲、▽由良▲、八重山
 梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、樅▲、檜▲、菱▲、
 菫▲、蓼▲、蓬▲、栗▲
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、
 呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、
 呂六六
 敷島▲、早稲、間宮▲
 (夕立)▲

【長崎】三隈▲
 【馬公】▽羽風、秋風、太刀風、朝顔
 【鎮海】▽檜、柿、葎
 【旅順】▽葵、萩、菊
 【上海】▽出雲
 吳竹

【吳淞】▽夕張
 【南京】梅
 【漢口】▽安宅、堅田、熱海、勢多、保津
 逆

【宜昌】二見
 【重慶】比良
 【コロン】▽八雲、磐手
 【作業地】勝力、駒橋、▽神威、球磨、嵯峨

【航海中】
 隱戸 (九日吳發「オハ」)
 佐多 (十日佐世保發「オハ」)
 鳥羽 (十一日漢口發「長沙」)
 淀 (十四日營口發「作業地」)
 襟裳 (十四日徳山發「廣」)
 鶴見 (十四日館山發「伊勢灣」)
 長門、扶桑、▽榛名、霧島、▽川内、神通、長良、
 阿武隈、▽迅鯨、▽龍驤、鳳翔、▽妙高、那智、
 羽黒、▽青葉、衣笠、古鷹、▽那珂、▽鬼怒、▽加賀、
 ▽子日、初春、若葉、初霜、▽睦月、卯月、彌生、如月、
 ▽長月、水無月、皐月、文月、▽松風、朝風、春風、
 旗風、▽綾波、浦波、敷波、▽響、雷、電、▽東雲、
 磯波、吹雪、▽天霧、朝霧、▽疾風、追風、▽伊六三、
 伊五九、伊六〇、▽伊五四、伊五三、▽伊五七、
 伊五六、伊五八、▽伊六六、伊六五、伊六七 (十
 五日館山發「伊勢灣」)

▽朝風、夕風、▽若竹、早苗、▽芙蓉、刈萱、
 帆風
 膠州、洲埼

(號外五頁、部内限二頁、同號外二頁、同別紙一葉)

海軍公報 號外

海軍大臣官房

昭和十一年九月十五日(火)

○令達

官房第四三三〇號

昭和十一年九月十五日

海軍大臣

關係各所屬長官殿



天皇陛下北海道行幸ニ關スル件訓令

天皇陛下別紙(第一)御日程ニ依リ陸軍特別大演習御統裁竝ニ地方御巡幸ノ爲北海道へ行幸被爲在ニ付右期間ニ於ケル海軍儀禮ハ左記ニ依ル義ト心得ベシ尙細項ニ關シテハ軍務局長ヲシテ必要ノ都度所要ノ向ニ通牒セシム

記

一、一般儀禮

- (一) 特ニ定ムル場合ノ外制規ノ儀禮ヲ行フ
- (二) 儀仗兵ノ派遣、迎送式及伺候式ハ横須賀軍港以外ニ於テハ之ヲ行ハズ但シ九月二十六日(九月二十七、二十八、二十九日)釧路、十月九日小樽ニ

於テハ所在艦船乗員ノ一部陸上ニ塔列シ奉送迎ス

- (三) 各地ニ於ケル海上御列左ノ如シ
- (イ) 横須賀軍港

御召艇

第二供奉艇

御先導艇(警備艇)

第一供奉艇

(附) 御召艇ハ比叡搭載ノモノヲ使用シ其ノ他

ノモノハ列外艇一隻ト共ニ横須賀鎮守府ヨリ派遣ス

(ロ) 室蘭、小樽、函館港

御先導艇(水上警備艇)

御召艇

第二供奉艇

御先導艇(警備艇)

第一供奉艇

- (四) 拜謁

拜謁可被仰付者別紙(第二)ノ通

二、室蘭、小樽、函館、釧路港

御召艦御出入港及御召列車御發着ノ際同所ニ軍艦在泊セザル場合ハ所在驅逐艦ノ一隻ハ皇禮袍ヲ行

海軍公報 號外

三、厚岸灣

鐵道事故等ノ爲厚岸灣ヨリ海路室蘭ニ御同航ノ場
合ノ海上御列及皇禮砲ノ施行ニ關シテハ第一號
(三)ノ(ロ)及第二號ニ定ムル所ニ依ル

別紙(第一)

御日程

九月二十四日

午前八時

御發替

同 八時十分

東京驛御發車

同 九時二十分

横須賀驛御著車

逸見埠頭ヨリ御乘艇

軍艦比叡ニ御乘艦

同 十時三十分

横須賀軍港御出港

御航海

九月二十五日

御航海

九月二十六日

午前七時十分

室蘭港御入港

室蘭水上棧橋ヨリ御上陸

株式會社日本製鋼所室蘭工場へ行幸

同 九時三十分

室蘭驛御發車

午後二時十九分

旭川驛御著車

御親閱場、第七師團司令部、北海道旭川師範學校
へ行幸

行在所 旭川偕行社

九月二十七日

午前八時

行在所御出門

同 八時十八分

旭川驛御發車

午後四時二十八分

釧路驛御著車

道民奉迎場へ行幸

行在所 釧路市男子高等小學校

九月二十八日

午前八時三十分

行在所御出門

御展望所へ行幸

同 八時四十七分

釧路驛御發車

午後零時十分

根室驛御著車

根室公會堂、御展望所、道民奉迎場へ行幸

午後一時五分

根室驛御發車

同 四時二十六分 釧路驛御著車

行在所 釧路市男子高等小學校

九月二十九日

午前八時 行在所御出門

同 八時十四分 釧路驛御發車

同 十一時三十分 帶廣驛御著車

北海道製糖株式會社帶廣工場、北海道廳立十勝農業學校、御親閱場へ行幸

行在所 帶廣市明星尋常小學校

九月三十日

午前十時二十分 行在所御出門

同 十時三十分 帶廣驛御發車

午後零時十六分 大樹驛御著車

北海道拓殖實習場十勝實習場、大樹村拓北部落へ行幸

同 二時四十分 大樹驛御發車

同 四時二十一分 帶廣驛御著車

行在所 帶廣市明星尋常小學校

十月一日

午前八時五十分 行在所御出門

同 九時 帶廣驛御發車

午後四時十三分 札幌驛御著車

大本營 北海道帝國大學農學部

十月二日

大演習御統裁

十月三日

同

十月四日

同

十月五日

同

十月六日

觀兵式

賜饌

午後二時 行在所御出門

北海道廳種畜場へ行幸

行在所 北海道帝國大學農學部

十月七日

午前八時三十分 行在所御出門

官幣大社札幌神社、札幌控訴院、北海道廳へ行幸

午前十時三十二分 札幌驛御發車

同 十時五十七分 野幌驛御著車

北海道林業試驗場へ行幸
 午後二時四十八分 野幌驛御發車
 同 三時十三分 札幌驛御著車
 行在所 北海道帝國大學農學部

十月八日

午前九時 行在所御出門
 同 九時五分 札幌驛御發車
 同 九時十三分 琴似驛御著車
 北海道工業試驗場、北海道農事試驗場へ行幸
 同 十一時十二分 琴似驛御發車
 同 十一時二十分 札幌驛御著車
 御親閱場、北海道帝國大學へ行幸
 行在所 北海道帝國大學農學部

十月九日

午前九時三十分 行在所御出門
 同 九時三十七分 札幌驛御發車
 同 十時二十分 小樽驛御著車
 小樽公會堂、小樽高等商業學校、北海製罐倉庫株式會社へ行幸
 小樽棧橋ヨリ御乘艇
 軍艦比叡ニ御乘艦

午後二時三十分 小樽港御出港
 御航海

十月十日

午前八時三十五分 函館港御入港
 函館稅關棧橋ヨリ御上陸
 北海道水産試驗場函館支場、國幣中社函館八幡宮津輕要塞司令部、函館市青柳尋常小學校、御親閱場へ行幸

函館稅關棧橋ヨリ御乘艇
 軍艦比叡ニ御乘艦

午後四時 函館港御出港
 御航海

十月十一日

御航海

十月十二日

午前九時三十分 橫須賀軍港御入港
 逸見埠頭ヨリ御上陸
 同 十時五十分 橫須賀驛御發車
 正 午 東京驛御著車
 還幸

別紙(第二)

九月二十四日

十月十二日

横須賀軍港

軍艦比叡ニ於テ

單獨拜謁

一、御召艦ニ乗艦ノ勅任官同待遇

一、御召艦ニ伺候シタル横須賀軍港所在ノ勅任官同待遇

遇

一、御召艦艦長

列立拜謁

一、御召艦ニ乗艦ノ奏任官同待遇

一、御召艦ニ伺候シタル供奉驅逐艦乗組及横須賀軍港所在ノ奏任官同待遇

九月二十六日

室蘭港

軍艦比叡ニ於テ

單獨拜謁

一、御召艦ニ乗艦ノ勅任官同待遇

一、北海道廳長官

一、大湊要港部司令官

一、御召艦艦長

一、所在警衛驅逐隊司令

十月九日

小樽港

軍艦比叡ニ於テ

單獨拜謁

一、御召艦ニ乗艦ノ勅任官同待遇

一、御召艦艦長

十月十日

函館港

軍艦比叡ニ於テ

一、北海道廳長官

一、大湊要港部司令官

一、所在警衛驅逐隊司令

海軍公報 號外

0310

海軍公報

第二千八百六十二號

昭和十一年九月十六日(水)
海軍大臣官房

○雜款

○司令潜水艦變更
第十二潜水隊司令ハ昨十五日司令潜水艦ヲ一時伊號第
七十潜水艦ヨリ伊號第六十九潜水艦ニ變更セリ

○佛國通報艦アミラル、シアルネ行動豫定變更
(五月十二日本欄參照)
寄港地名 着 發
福岡 九月十五日、 九月二十一日

海軍公報 第二千八百六十二號 昭和十一年九月十六日

八九七

○艦船所在

△印(ハホフ)
指定ヲ要セズ

○九月十六日午前十時調

【横須賀】

對馬▲金剛▲大鯨▲高雄▲摩耶▲陸奥、
比叡、▽嚴島、駒橋

沖風、矢風、峯風▲曉▲汐風▲白鷺、時雨

伊四▲伊七○、伊六八

富士▲尻矢、室戸

(鈴谷)▲(劍埼)▲(高崎)▲

夕霧、▽狹霧

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五八▲

呂五七▲、呂五九▲

【石川島】

(鴨)▲

【横濱】

(隼)▲

【浦賀】

(五月雨)▲(山風)▲

【館山】

澤風▲

【伊勢灣】

▽山城、日向、▽鳥海、愛宕、足柄、▽北上、
大井、木曾、▽名取、▽五十鈴、▽長鯨、
能登呂

▽有明、夕暮、▽菊月、三日月、夕月、望月、
▽夕風、島風、灘風、▽朧、曙、潮、▽初雪、
白雪、▽白雲、叢雲、薄雲

▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

【天湊】

▽神風、沼風、野風、波風
大泊、野島

【吳】

白鷹
夕顔、▽藤、薄、葛

呂五一▲、呂五三▲、▽呂六八、呂六三、
呂六四、呂三三、▽呂二六、呂二八、
呂二七、伊七一、伊五一、▽伊二二、
伊二一、伊五五、伊六

▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八

石廊、攝津▲、朝日

(蒼龍)▲(伊七)▲

(蒼龍)▲(伊七)▲

(村雨)▲(鶴)▲

春日▲

(伊七二)▲(伊七三)▲(伊八)▲(伊七五)▲

(呂三四)▲

真鶴▲、千鳥▲

(沖島)▲

相生

平戸

吾妻▲

伊五二▲

友鶴、初雁

(春雨)▲(鴻)▲

(春雨)▲(鴻)▲

【佐世保】

赤城▲、加吉▲、龍田▲、常磐▲、▽由良▲、
八重山
梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、檜▲、菱▲、
重▲、菱▲、蓬▲、栗▲
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、
呂六六
敷島▲、早鞆、間宮▲
(夕立)▲

【長崎】

三隈▲

【馬公】

▽夕張

【鎮海】

▽羽風、秋風、朝顔

【旅順】

▽檜、柿、葦

【上海】

▽葵、萩、菊

【南京】

▽出雲

吳竹
漢口▽安宅、墾田、熱海、勢多

【宜昌】

二見

【重慶】

比良

【作業地】

勝力、▽神威、球磨、饅峨、淀
▽夕風、朝風、▽若竹、早苗、▽芙蓉、刈萱、
帆風、太刀風
膠州、洲崎

【航海中】

【隱戸】

(九日吳發—「オハ」)

【佐多】

(十日佐世保發—「オハ」)

【鳥羽】

(十一日漢口發—長沙)

▽八雲

磐手 (十三日「ヨロン」發—「マンザニヨ」)

▽長門

扶桑、▽榛名、霧島、▽川内、神通、長良、

▽阿武隈

▽迅鯨、▽龍驤、鳳翔、▽妙高、那智、

▽羽黑

▽青葉、衣笠、古鷹、▽那珂、▽鬼怒、▽加賀、

▽子日

初春、若葉、初霜、▽陸月、卯月、彌生、如月、

▽長月

水無月、皁月、文月、▽松風、朝風、春風、

▽旗風

▽綾波、浦波、敷波、▽響、雷、電、▽東雲、

▽磯波

吹雪、▽天霧、朝霧、▽疾風、追風、▽伊五三、

伊五九

伊六〇、▽伊五四、伊五三、▽伊五七、

伊五六

伊五八、▽伊六六、伊六五、伊六七 (十

五日館山發—伊勢灣)

多摩

(十五日萩發—舞鶴)

伊六九

(十五日橫須賀發—伊勢灣)

掃六

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四 (十五日長

浦發—釜山)

鳴戸

(十五日伊勢灣發—橫須賀)

保津

(十六日漢口發—九江)

伊二三

伊二四 (十六日長浦發—佐世保)

知床

(十六日橫須賀發—伊勢灣)

襟裳

(十六日徳山發—廣)

(部内限四頁、同別紙二十頁)

海軍公報

第二千八百六十三號

海軍大臣官房

昭和十一年九月十七日(木)

○通牒

官房第四三六〇號

昭和十一年九月十七日

海軍省副官

各廳長殿

橋神社創建献資ノ件移牒

橋神社創建奉賛會長田中廣太郎ヨリ別紙ノ通願出有之候條別冊趣旨書及同書ニ添附ノ振替貯金拂込用紙ニ依リ可然御取計相成度

追テ献金標準ハ概ネ左記ニ依ルヲ適當カト存候
尙廣瀬神社創建ニ際シテハ陸軍部内ヨリ多額ノ献資アリシ次第申添候

記

- 一、准士官以上並ニ高等文官 俸給月額二百分ノ一
- 二、右以外 適宜

(別紙)

謹啓時下益々御清祥ニ被涉候段奉慶賀候

陳者先般本會顧問ニ御推戴申シ上ゲ候處早速御承諾ヲ賜リ本會至上ノ榮譽ト感銘罷在候 就而本會事業達成上閣下ノ御協賛ヲ賜ハリ貴管下將兵各位ノ熱誠ナル御後援ヲ仰ギ何分ノ御献資ヲ賜ハル様御盡瘁相仰度此段奉懇願候
敬具

昭和十一年八月二十一日

橋神社創建報賛會長 田中廣太郎

海軍大臣 永野修身閣下

(別冊添)

○辭令

海軍技手 栗山 光雄

技術部第一課勤務ヲ命ス

同 古谷 正記
同 齋藤 富男

(各道)

海軍公報 第二千八百六十三號

昭和十一年九月十七日

九〇一

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上協海軍航空本部)

○ 雜 款

○進水
三菱神戸造船所ニ於テ建造中ノ伊號第七十五潜水艦ハ
昨十六日進水セリ

○郵便物發送先
軍艦多摩宛
九月十八日迄ニ到達見込ノモノハ 新 舞 鶴
同 二十九日迄ニ 同 福 鎮 海
十月五日迄ニ 同 新 舞 鶴
其ノ後ハ

○失官

退役海軍軍醫大佐正五位勳三等功四級青木甲子三
一昨十五日卒去、本十七日午後三時ヨリ神奈川縣
高座郡茅ヶ崎町字茅ヶ崎一、四一―自宅ニ於テ
葬儀執行

○正誤 (又ミ)
本月十五日號外一頁上段終ヨリ二行目「九月二十六日
函館」ハ「九月二十六日室蘭」ノ誤

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月十七日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、金剛▲、大鯨▲、高雄▲、摩耶▲、陸奥、
比叡、▽殿島、駒橋

沖風、矢風、峯風▲、曉▲、汐風▲、白露、
時雨、夕霧

伊四▲、伊七〇、伊六八

富士▲、尻矢、鳴戸

【鈴谷】▲、【劍埼】▲、【高崎】▲

【長浦】

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八▲、
呂五七▲、呂五九▲

【石川島】

【横濱】

【浦賀】

【五月雨】▲、【山風】▲

【館山】

澤風▲

【伊勢灣】

長門、扶桑、▽榛名、霧島、▽川内、神通、
長良、▽阿武隈、▽迅鯨、▽龍驤、鳳翔、
▽妙高、那智、羽黑、▽青葉、衣笠、古鷹、
▽那珂、▽鬼怒、▽加賀、▽山城、日向、
▽鳥海、愛宕、足柄、▽北上、大井、木曾、
▽名取、▽五十鈴、▽長鯨、能登呂、
▽子日、初春、若葉、初霜、▽睦月、卯月、

彌生、如月、▽長月、水無月、皐月、文月、
▽松風、朝風、春風、旗風、▽綾波、浦波、
敷波、▽響、雷、電、▽東雲、磯波、吹雪、
▽天霧、朝霧、▽疾風、追風、▽有明、夕暮、
▽菊月、三日月、夕月、望月、▽夕風、島風、
灘風、▽朧、曙、潮、▽初雪、白雪、▽白雲、
叢雲、薄雲

伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

鶴見、知床

【大湊】

▽神風、沼風、野風、波風、
大泊、野島

【吳】

矢矧▲、韓崎、▽淺間、伊勢▲、天龍▲、最上、
白鷹

夕顔、▽藤、薄、葛

呂五一▲、呂五三▲、▽呂六八、呂六三、
呂六四、呂三三、▽呂二六、呂二八、
呂二七、伊七一、伊五一、▽伊二二、
伊二一、伊五五、伊六

▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八

石廊、攝津▲、朝日

| | | | | | | |
|--|--|---|---|---|--|---|
| <p>【大 阪】(蒼龍)▲(伊七)▲ (村雨)▲(鶴)▲ 【神 戶】春日▲ (伊七二)▲(伊七三)▲(伊八)▲(伊七五)▲ (呂三四)▲</p> | <p>【相生】(眞鶴)▲(千鳥)▲ (沖島)▲</p> | <p>【江田内】平戸 襟裳 【廣 島】吾妻▲(多摩)▲ 伊五二▲ 【舞 鶴】伊五二▲ 【友鶴】初雁 (春雨)▲(鴻)▲</p> | <p>【佐世保】赤城▲(加古)▲(龍田)▲(由良)▲(常磐)▲ 八重山 梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲榿▲檜▲檜▲菱▲ 菫▲蓼▲蓬▲栗▲ 呂三〇▲(呂三一)▲(呂三二)▲(呂六〇)▲ 呂六一▲(呂六二)▲(呂六七)▲(呂六五)▲ 呂六六 敷島▲(早柄)▲(間宮)▲ (夕立)▲</p> | <p>【鎮 海】(檜)▲(柿)▲(葎) 【芝 罘】萩 【上 海】(出雲)▲ (吳竹) 【南 京】梅 【九 江】(保津) 【大 冶】(勢多) 【漢 口】(安宅)▲(熱海) 【長 沙】(堅田)▲(鳥羽) 【宜 昌】(二見) 【重 慶】(比良) 【作業地】(勝力)▲(神威)▲(球磨)▲(嵯峨)▲(淀) (夕風)▲(朝風)▲(若竹)▲(早苗)▲(芙蓉)▲(刈萱)▲ (帆風)▲(太刀風)▲ (膠州)▲(洲崎)</p> | <p>【航海中】 隠戸 (九日吳發)「オハ」(へ) 佐多 (十日佐世保發)「オハ」(へ) 八雲、磐手 (十三日「コロン」發)「マンザニヨ」(へ) 掃六、掃五、掃一、掃二、掃三、掃四 (十五日長浦發)「釜山」(へ) 伊二三、伊二四 (十六日長浦發)「佐世保」(へ) 葵、菊 (十六日旅順港外發)「青島」(へ) 運 (十六日漢口發)「蕪湖」(へ) 室戸 (十七日横須賀發)「佐世保」(へ)</p> | <p>【長 崎】(三限)▲ 【馬 公】(夕張)▲ (羽風)▲(秋風)▲(朝顔)</p> |
|--|--|---|---|---|--|---|

(部内限一頁)

海軍公報

第二千八百六十四號

昭和十一年九月十八日(金)

海軍大臣官房

○辭令

福島辯護士會所屬辯護士 田村 護
海軍軍法會議法第八十八條ニ依リ指定ス(九月海軍大臣)

○雜款

○將旗移揚
第二水雷戰隊司令官ハ本月十二日將旗ヲ一時那珂ヨリ
電ニ移揚シ、翌十三日那珂ニ復歸セリ

海軍公報 第二千八百六十四號

昭和十一年九月十八日

九〇五

○艦船所在

印(ハハカ) 指定ヲ要セズ

○九月十八日午前十時調

【横須賀】

對馬▲金剛▲大鯨▲高雄▲摩耶▲陸奥、比叡、駒橋

沖風、矢風、峯風▲曉▲汐風▲白露、時雨、夕霧、澤風

伊四▲伊七○、伊六八

富士▲尻矢

(鈴谷)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

狹霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八▲

呂五七▲、呂五九▲

【石川島】

(鴨)

【横濱】

漣

(隼)▲

【浦賀】(五月雨)▲(山風)▲

【伊勢灣】長門、扶桑、▽榛名、霧島、▽川内、神通、長良、▽阿武隈、▽迅鯨、▽龍驤、鳳翔、▽妙高、那智、羽黑、▽青葉、衣笠、古鷹、▽那珂、▽鬼怒、▽加賀、▽山城、日向、▽鳥海、愛宕、足柄、▽北上、大井、木曾、▽名取、▽五十鈴、▽長鯨、能登呂

▽子日、初春、若葉、初霜、▽睦月、卯月、彌生、如月、▽長月、水無月、皁月、文月、

▽松風、朝風、春風、旗風、▽綾波、浦波、敷波、▽響、雷、電、▽東雲、磯波、吹雪、▽天霧、朝霧、▽疾風、追風、▽有明、夕暮、▽菊月、三日月、夕月、望月、▽夕風、島風、灘風、▽朧、曙、潮、▽初雪、白雪、▽白雲、叢雲、薄雲

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、伊六一、伊六二

【大湊】

▽神風、沼風、野風、波風

【吳】

大泊、野島

【矢矧】

▽韓崎、▽淺間、伊勢▲天龍▲最上、白鷹

夕顏、▽藤、薄、菖

呂五一▲、呂五三▲、▽呂六八、呂六三、呂六四、呂三三、▽呂二六、呂二八、呂二七、伊七一、伊五一、伊五五、伊六一、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

石廊、攝津▲朝日、襟裳

(蒼龍)▲(伊七)▲

(村雨)▲(鵜)▲

【大阪】

(村雨)▲(鵜)▲

【神戸】春日
 (伊七二)▲(伊七三)▲(伊八)▲(伊七五)▲
 (呂三四)▲

【相生】眞鶴▲千鳥▲
 (沖島)▲

【江田内】平戸
 吾妻▲多摩
 伊五二▲

【舞鶴】友鶴、初雁
 (春雨)▲(鴻)▲

【佐世保】赤城▲、加古▲、龍田▲、▽由良▲、▽常磐、八重山
 梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、樅▲、檜▲、菱▲、
 菫▲、蓼▲、蓬▲、栗▲
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇、
 呂六一、呂六二
 敷島▲、早鞆、間宮▲
 (夕立)▲

【長崎】三隈▲

【馬公】▽羽風、秋風、朝顔

【統營】▽楡、柿、葦

【芝罘】萩

【青島】▽葵、菊

【上海】▽出雲
 吳竹

【南京】梅

【蕪湖】蓮

【九江】保津

【大冶】勢多

【漢口】▽安宅、熱海

【長沙】堅田、鳥羽

【宜昌】二見

【重慶】比良

【才】佐多

【作業地】勝力、▽神威、▽夕張、球磨、嵯峨、淀
 夕風、朝風、▽若竹、早苗、▽芙蓉、刈萱、
 帆風、太刀風
 膠州、洲崎

【航海中】
 隱戸 (九日吳發「オハ」)
 ▽八雲、磐手 (十三日「ロン」發「マンザニヨ」)
 ▽伊二三、伊二四 (十六日長浦發「佐世保」)
 ▽巖島、室戸 (十七日横須賀發「佐世保」)
 知床 (十七日伊勢灣發「吳」)
 ▽伊二三、伊二一 (十八日吳發「舞鶴」)
 ▽呂六五、呂六六、呂六七 (十八日佐世保發「舞鶴」)
 ▽掃六、掃五、掃一、掃二、掃三、掃四 (十八日油
 谷灣發「釜山」)
 鳴戸 (十八日横須賀發「伊勢灣」)

(部限三頁、別紙八頁)

海軍公報

第二千八百六十五號

海軍大臣官房

昭和十一年九月十九日(土)

○辭令



鐵道技師 馬場 楯吉

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金六拾圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク

鐵道省事務官 三輪 真吉

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金六拾圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク

鐵道技師 羽中田喜代作

(各通)

鐵道省事務官 西尾 壽男

海軍省事務ヲ囑託ス(以上^{十七}海軍省)

○雜款

○司令部移置

横須賀防備戰隊司令官ハ本月十七日司令部ヲ横須賀防備隊ニ移セリ

○代將旗移揚

佐世保防備戰隊司令官ハ昨十八日代將旗ヲ佐世保防備隊ヨリ常磐ニ移揚セリ

○電話架設

東京海軍造船造兵監督長海軍大佐山田 滿宅(杉並區高円寺四ノ五五六) 中野 六五六三番

○艦裝具事務所移轉

播磨造船所構内ニ設置ノ軍艦沖島艦裝具事務所ヲ撤シ九期四日ヨリ同構内繋留中本艦内ニテ執務セリ

海軍公報 第二千八百六十五號 昭和十一年九月十九日

九〇九

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セズ

○九月十九日午前十時調

【横須賀】

對馬△、金剛△、大鯨△、高雄△、摩耶△、陸奥、
比叡、駒橋

沖風、矢風、峯風△、曉△、白霧、時雨、夕霧

伊四△、伊七〇、伊六八

富士△、尻矢

(鈴谷)△、(劍崎)△、(高崎)△

【長浦】△狹霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八△、
呂五七△、呂五九△

【石川島】

(鶴)△

【横濱】

(隼)△

【浦賀】

(五月雨)△、(山風)△

【館山】

澤風△

【伊勢灣】

長門、扶桑、▽榛名、霧島、▽川内、神通、
長良、▽阿武隈、▽迅鯨、▽龍驤、風翔、
▽妙高、那智、羽黑、▽青葉、衣笠、古鷹、
▽那珂、▽鬼怒、▽加賀、▽山城、日向、
▽鳥海、愛宕、足柄、▽北上、大井、木曾、
▽名取、▽五十鈴、▽長鯨、能登呂、
▽子日、初春、若葉、初霜、▽睦月、卯月、
彌生、如月、▽長月、水無月、皁月、文月、

▽松風、朝風、春風、旗風、▽綾波、浦波、
敷波、▽響、雷、電、▽東雲、磯波、吹雪、
▽天霧、朝霧、▽疾風、追風、▽有明、夕霧、
▽菊月、三日月、夕月、望月、▽夕風、島風、
灘風、▽朧、曙、潮、▽初雪、白雪、▽白雲、
叢雲、薄雲

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、
伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、
▽伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、▽伊六四、
伊六一、伊六二

海軍公報 第二千八百六十五號 昭和十一年九月十九日

【神 戸】(伊七二)▲(伊七三)▲(伊八)▲(伊七五)▲
 (呂三四)▲
 【相生】真鶴▲千鳥▲
 (沖島)▲
 【江田内】平戸
 【舞 鶴】吾妻▲多摩
 伊五二▲
 友鶴、初雁
 (春雨)▲(鴻)▲
 【佐世保】赤城▲加古▲龍田▲▽由良▲▽常磐、
 八重山
 梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲檜▲檜▲菱▲
 葦▲藜▲蓬▲栗▲
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇、
 呂六一、呂六二
 敷島▲早瀬、間宮▲
 (夕立)▲
 【長 崎】三隈▲
 【馬 公】朝顔
 【統 營】檜、柿、葎
 【芝 罘】萩
 【青 島】区葵、菊
 【上 海】区出雲
 吳竹
 【南 京】梅

【燕 湖】遼
 【九 江】保津
 【大 冶】勢多
 【漢 口】▽安宅、熱海
 【長 沙】▽堅田、鳥羽
 【宜 昌】二見
 【重 慶】比良
 【才 小】佐多、隠戸
 【作業地】勝力、▽神威、▽夕張、球磨、嵯峨、淀
 夕風、朝風、▽若竹、早苗、▽芙蓉、刈萱、
 羽風、秋風、帆風、太刀風
 膠州、洲崎
 【航海中】
 ▽八雲、磐手 (十三日「ヨロン」發「マンザニョ」)
 ▽伊二三、伊二四 (十六日長浦發「佐世保」)
 ▽殿島、室戸 (十七日横須賀發「佐世保」)
 知床 (十七日伊勢灣發「吳」)
 春日 (十八日神戶發「横須賀」)
 ▽伊二二、伊二一 (十八日吳發「舞鶴」)
 ▽呂六五、呂六六、呂六七 (十八日佐世保發「舞鶴」)
 ▽掃六、掃五、掃一、掃二、掃三、掃四 (十八日油
 谷灣發「釜山」)
 鳴戸 (十八日横須賀發「伊勢灣」)
 汐風 (十九日長浦發「神津島」)

(部内限二頁)

海軍公報

第二千八百六十六號

昭和十一年九月二十一日(月)

海軍大臣官房

○令達

官房第四四二二號

來二十三日秋季皇靈祭同神殿祭ニ付在京諸官ハ當日左ノ通心得ベシ

昭和十一年九月二十一日

海軍大臣

一、午前九時三十分賢所參集所ニ參集スベキ者

親任官同待遇、勅任官同待遇

一、正午ヨリ午後一時迄ニ參拜スベキ者

奏任官同待遇並ニ判任官以下ニシテ位勳ヲ有スル者

一、午後一時ヨリ同二時迄ニ參拜スベキ者

位勳ヲ有セザル判任官同待遇

服裝 正裝 大禮服

○通牒

官房第四四二二號

昭和十一年九月二十一日

海軍省副官

在京各廳長殿

奉送迎ニ關スル件通牒

天皇陛下來九月二十四日(木)午前八時十分東京驛御發車陸軍特別大演習御統裁並ニ地方御巡幸ノ爲北海道へ行幸、十月十二日(月)正午東京驛御著車還幸被爲在ニ付勤務ニ差支ナキ高等官ハ右時刻ノ御發車ノ場合二十五分、御著車ノ場合二十分前迄ニ同驛ニ參集奉送迎ノコトニ定メラレ候

追テ奉送迎位置ハ高等官五等以上驛構内、右以下驛前廣場ニシテ服裝ハ通常禮裝ニ有之候

○訓令

海軍省出仕海軍軍醫中佐 矢可部軍司
海軍省醫務局ニ於テ服務スヘシ(九月二十日海軍大臣)

○ 辭 令

○昭和十一年九月二十一日

任海軍書記 陸軍歩兵伍長勳八等 堤 榮 一

給月俸七拾圓

任海軍書記 近藤 清志

給七級俸

任海軍書記 波多野 七郎

給月俸六拾圓

任海軍書記 大井 實

給八級俸

任海軍書記 中川 延男

給十級俸

海軍省建築局勤務海軍技手 近藤 勝夫

佐世保海軍建築部勤務ヲ命ス

海軍艦政本部造船造兵監督書記 中田 千代吉

海軍書記

吳海軍工廠勤務ヲ命ス(以上均海軍省)

海軍書記 堤 榮 一

佐世保海軍建築部勤務ヲ命ス

同 近藤 清志

横須賀海軍建築部勤務ヲ命ス

海軍工機學校附ヲ命ス 同 波多野 七郎

同 大井 實

横須賀海軍建築部勤務ヲ命ス

同 中川 延男

横須賀海軍工廠附ヲ命ス

元海軍三等航空兵曹 高口 克巳

大正八年勅令第三百七十一號ニ依リ金壹千參百圓ヲ

給與ス(以上均同)

○ 雜 款

○總代

天皇陛下陸軍特別大演習御統裁並ニ地方御巡幸ノタメ
來二十四日御發替北海道へ行幸アラセラルルニ付勅、
奏任官總代トシテ當日東京驛ニ於テ奉送スベキ旨左記
諸官ニ訓令セラレタリ

記

勅任官總代 海軍少將 砂 川 兼 雄

奏任官總代 海軍機關大佐 細 谷 信 三 郎

○代將旗移揚

0325

佐世保防備戰隊司令官ハ本月十八日代將旗ヲ常磐ヨリ
佐世保防備隊ニ移揚セリ

○驅逐艦栗行動豫定

地名 着

佐世保

上 海 九月三十日

發 九月二十八日

海軍中尉從七位鈴木佐三一昨十九日死去、本二
十一日午後二時横須賀市山王町良長院ニ於テ告別
式執行

海軍公報 第二千八百六十六號 昭和十一年九月二十一日

九一五

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月二十一日午前十時調

【横須賀】

對馬▲金剛▲大鯨▲高雄▲摩耶▲比叡、
駒橋、春日

沖風、矢風、峯風▲曉▲白露、時雨、夕霧、
汐風

伊四▲

富士▲尻矢

【長浦】
〔餘谷〕▲(劍埼)▲(高崎)▲

〔狹霧〕

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八▲

呂五七▲、呂五九▲

【石川島】

〔鞆〕

【浦賀】(五月雨)▲(山風)▲

【伊東】陸奥

【伊勢灣】
長門、扶桑、▽榛名、霧島、▽川内、神通、
長良、▽阿武隈、▽迅鯨、▽龍驤、鳳翔、
▽那珂、▽鬼怒、▽加賀、▽山城、日向、
▽鳥海、愛宕、足柄、▽北上、大井、木曾、
▽名取、▽五十鈴、▽長鯨、能登呂、
▽子日、初春、若葉、初霜、▽陸月、卯月、

彌生、如月、▽長月、水無月、月、文月、卓

▽松風、朝風、春風、旗風、▽綾波、浦波、

敷波、▽響、雷、電、▽東雲、磯波、吹雪、

▽天霧、朝霧、▽疾風、追風、▽有明、夕暮、

▽菊月、三日月、夕月、望月、▽夕風、島風、

灘風、▽朧、曙、潮、▽初雪、白雪、▽白雲、

叢雲、薄雲

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、

伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、

伊六九、▽伊六六、伊六五、伊六七、

▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、伊六、

▽伊六四、伊六一、伊六二

鶴見、鳴戸

【大湊】
▽神風、沼風、野風、波風

大泊

【吳】
矢矧▲韓崎、▽淺間、伊勢▲天龍▲最上、

白鰐

夕顔、▽藤、薄、菖

呂五一▲、呂五三▲、▽呂六八、呂六三、

呂六四、呂三三、▽呂二六、呂二八、

呂二七、伊七一、伊五一、伊五五

▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、

掃一八

石廊、攝津▲朝日、襟裳

(蒼龍)▲(伊七)▲

【大 阪】(村雨)▲(鶴)▲
 【神 戶】(伊七二)▲(伊七三)▲(伊八)▲(伊七五)▲
 (呂三四)▲
 【相 生】真鶴▲千鳥▲
 (沖島)▲
 【江田内】平戸
 【舞 鶴】吾妻▲
 伊五二▲、伊三三、伊二二、呂六五、
 呂六六、呂六七
 友鶴、初雁
 (春雨)▲、(鴻)▲
 【佐世保】赤城▲、加古▲、龍田▲、▽由良▲、常磐、
 八重山、殿島
 梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、檜▲、菱▲、
 董▲、蓼▲、蓬▲、栗▲
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、伊二三、
 伊二四
 敷島▲、早瀬、間宮▲、室戸
 (夕立)▲
 【長 崎】三隈▲
 【馬 公】朝顔
 【鎮 海】多摩
 檜、柿、葦
 【芝 罘】萩
 【青 島】区葵、菊

【上 海】口出雲
 【南 京】梅
 【蕪 湖】遊
 【九 江】保津
 【漢 口】△安宅、熱海、鳥羽、勢多
 【長 沙】壁田
 【宜 昌】二見
 【重 慶】比良
 【作業地】勝力、▽神威、▽夕張、球磨、嵯峨
 夕風、朝風、▽若竹、早苗、▽芙蓉、刈萱、
 羽風、秋風、帆風、太刀風
 膠州、洲崎
 【航海中】
 △八雲、磐手 (十三日「コロン」發)「マンザニョ」へ
 呂六〇、呂六一、呂六二 (十九日吳發)鎮海へ
 野島 (十九日大湊發)横須賀へ
 吳竹 (二十日上海發)
 掃六、掃五、掃一、掃二、掃三、掃四 (二十日釜
 山發)鎮海へ
 知床 (二十日吳發)佐世保へ
 淀 (二十一日秦皇島發)作業地へ
 澤風 (二十一日館山發)作業地へ
 伊六八、伊七〇 (二十一日横須賀發)伊勢灣へ
 佐多、隠戸 (二十一日「オハ」發)徳山へ

(部内限二頁)

海軍公報

第二千八百六十七號

海軍大臣官房

昭和十一年九月二十二日(火)

○通牒



教育第二九一號

昭和十一年九月二十二日

海軍省教育局

海軍各廳御中

思想研究資料(第十六回)豫約ノ件通知
當局發行ノ思想研究資料部内要望ノ向ニ實費ヲ以テ配
付可致候條左記諸項御了知ノ上御申込相成度

記

- 一、冊 子 一冊三、四十頁ニシテ總頁數約四百
頁昭和十二年四月末日迄ニ全部發行
送付ノ豫定
- 二、實費及送料 六十錢
- 三、配付範圍 部内准士官以上高等文官
- 四、申 込 各廳毎ニ要望者員數取纏メ官氏名ト
共ニ御通知ノ上必ズ代金前納相成度

- 五、申 込 着期限 昭和十一年十月十五日
- 六、教 育 局 東京八一四三二番
口座番號

○辭令

○昭和十一年九月二十一日

任海軍書記 高橋 秀義
給八級俸

軍令部附ヲ命ス 海軍書記 高橋 秀義

故海軍大尉野海文雄父

一金四千圓 但死亡者一時賜金 野海 一二

故海軍一等航空兵曹井土正之助父

一金參千圓 但死亡者一時賜金 井 土 多 一 郎

故海軍二等航空兵曹井土正之助父

一金參千圓 但死亡者一時賜金 井 土 多 一 郎

海軍公報 第二千八百六十七號 昭和十一年九月二十二日

九一九

(通各)

- 故海軍二等航空兵曹末盛壽郎父
金壹千四百圓 但死亡者一時賜金 但死後者保護賜金 末盛 禎作
- 故海軍二等航空兵曹田窪安市父
金壹千四百圓 但死亡者一時賜金 但死後者保護賜金 田窪 只兵衛
- 故海軍三等航空兵曹賀川一雄父
金壹千貳百圓 但死亡者一時賜金 但死後者保護賜金 賀川 伊之助
- 故海軍三等航空兵曹中川治男戶主
金壹千貳百圓 但死亡者一時賜金 但死後者保護賜金 中川 復野
- 故海軍三等整備兵曹北住典男父
金六百圓 但死亡者一時賜金 但死後者保護賜金 北住 慎治
- 故海軍一等水兵西田政光父
金壹千四百圓 但死亡者一時賜金 但死後者保護賜金 西田 龜彦
- 故海軍一等航空兵長崎松太郎父
金壹千四百圓 但死亡者一時賜金 但死後者保護賜金 長崎 岩
- 故海軍一等航空兵近國中一父
金壹千四百圓 但死亡者一時賜金 但死後者保護賜金 近國 直一
- 故海軍一等航空兵赤屋年信父
金壹千四百圓 但死亡者一時賜金 但死後者保護賜金 赤屋 定七

故海軍一等航空兵曹 重藏父
金壹千四百圓 但死亡者一時賜金 但死後者保護賜金 秦 富十郎

右大正二年勅令第九號及大正八年勅令第三百七十一號ニ依リ之ヲ給與ス(以上^{九二〇}海軍省)

(通各) 故海軍三等兵曹中村秀正父 中村 駒次
同 辻山松雄母 辻山 サト

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百五拾圓ヲ給與ス

故海軍二等水兵一山政義父 一山 政喜
昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百圓ヲ給與ス
(以上^{九二〇}同)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更
第十二潜水隊司令ハ昨二十一日司令潜水艦ヲ伊號第六十九潜水艦ヨリ伊號第六十八潜水艦ニ變更セリ

○驅逐艦時雨行動豫定
地名 着 發
横須賀 九月二十四日
室蘭 九月二十六日 二十六日

| | | |
|-----|--------|------|
| 厚岸 | 十月二十七日 | 十月一日 |
| 大湊 | 十月二日 | 十月四日 |
| 小樽 | 十月五日 | 十月九日 |
| 函館 | 十月十日 | 十月十日 |
| 横須賀 | 十月十二日 | 十月十日 |

○郵便物發送先

驅逐艦時雨宛

| | | |
|------|------------------|-----|
| 厚岸 | 九月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ | 横須賀 |
| 大湊 | 同 三十日迄ニ同 | 大湊 |
| 小樽 | 同 三日迄ニ同 | 小樽 |
| 函館 | 同 八日迄ニ同 | 函館 |
| 其ノ後ハ | 同 九日迄ニ同 | 横須賀 |

○電話番号變更

海軍艦政本部第三部首席部員海軍大佐 佐々木清恭宅
 (大森區新井宿四ノ一〇四〇)
 大森 七二三三番

○出發

| | | | |
|--------|------------|------------------|-----------|
| 歐米各國出張 | 海軍技師 住木 直二 | 九月二十五日 午後三時 東京驛發 | シベリヤ 經由 山 |
|--------|------------|------------------|-----------|

○海軍部内及關係各部ニ於ケル振替貯金口座番號表中
 海軍通信學校通信參考書掛ノ項ノ次ニ

海軍工機學校主計部 同 一二六、八六八

軍艦足柄ノ項ノ次ニ

軍艦常磐 同 二二、九五七

(昭和十一年七月七日海軍公報附錄參照)

(海軍省經理局)

後備役海軍主計中佐從五位勳四等二村光三本月十八日卒去、昨二十一日午後二時東京市四谷區新宿二丁目太宗寺ニ於テ佛式ニ依リ葬儀執行セリ

軍令部附海軍書記高橋秀義ハ昨二十一日死去セリ

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月二十二日午前十時調

【横須賀】

對馬▲金剛▲大鯨▲高雄▲摩耶▲駒橋、春日、比叡

沖風、矢風、峯風▲曉▲白霧、時雨、夕霧

伊四▲

富士▲、尻矢

(鈴谷)▲(劍崎)▲(高崎)▲

【長浦】

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八▲

呂五七▲、呂五九▲

【石川島】

(鴨)▲

【横濱】

(隼)▲

【浦賀】(五月雨)▲(山風)▲

伊勢灣】長門、扶桑、▽榛名、霧島、▽川内、神通、

長良、▽阿武隈、▽迅鯨、▽龍驤、風翔、

▽妙高、那智、羽黑、▽青葉、衣笠、古鷹、

▽那珂、▽鬼怒、▽加賀、▽山城、日向、

▽島海、愛宕、足柄、▽北上、大井、木曾、

▽名取、▽五十鈴、▽長鯨、能登呂

▽子日、初春、若葉、初霜、▽陸月、卯月、

彌生、如月、▽長月、水無月、月、文月、阜

▽松風、朝風、春風、旗風、▽綾波、浦波、

敷波、▽響、雷、電、▽東雲、磯波、吹雪、

▽天霧、朝霧、▽疾風、追風、▽有明、夕暮、

▽菊月、三日月、夕月、望月、▽夕風、島風、

灘風、▽朧、曙、潮、▽初雪、白雪、▽白雲、

蒼雲、薄雲

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊五四、

伊五三、▽伊五七、伊五六、伊五八、

▽伊六八、伊六九、伊七〇、▽伊六六、

伊六五、伊六七、▽伊二、伊一、伊三、

▽伊五、伊六、▽伊六四、伊六一、伊六二、

鶴見、鳴戸

【大湊】

▽神風、沼風、野風、波風

【吳】

矢矧▲、韓崎、▽淺間、伊勢▲、天龍▲、最上

夕顔、▽藤、薄、菖

呂五一▲、呂五三▲、▽呂六八、呂六三、

呂六四、呂三三、▽呂二六、呂二八、

呂二七、伊七一、伊五一、伊五五

石廊、攝津▲、朝日、襟裳

(蒼龍)▲、(伊七)▲

【大阪】

(村雨)▲、(鶴)▲

【神戸】

(伊七二)▲、(伊七三)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

(呂三四)▲

【相生】

真鶴▲、千鳥▲

海軍公報 第二千八百六十七號 昭和十一年九月二十二日

九二三

【江田内】 平戸
【舞鶴】 吾妻▲

伊五二▲、伊二二、伊二一、呂六五、
呂六六、呂六七

【友鶴】 初雁

(春雨)▲、(鴻)▲

【佐世保】 赤城▲、加古▲、龍田▲、▽由良▲、常磐、

八重山、嚴島

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、櫻▲、檜▲、菱▲、

菫▲、藜▲、蓬▲、栗▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、伊二三、

伊二四

敷島▲、早鞆、間宮▲、室戸

(夕立)▲

【長崎】 三隈▲

【馬公】 朝顔

【鎮海】 多摩

【檜】 楡、柿、葦

【芝罘】 萩

【青島】 区葵、菊

【上海】 区出雲

【南京】 梅

【九江】 保津

【漢口】 ▽安宅、熱海、鳥羽、勢多

【長沙】 堅田

【宜昌】 二見
【重慶】 比良

【マンザニョ】 ▽八雲、磐手

【作業地】 勝力、▽神威、▽夕張、球磨、嵯峨

▽夕風、朝風、▽若竹、早苗、▽芙蓉、刈萱、

▽羽風、秋風、帆風、太刀風

膠州、洲崎

【航海中】

呂六〇、呂六一、呂六二 (十九日吳發—鎮海へ)

野島 (十九日大湊發—横須賀へ)

吳竹 (二十日上海發)

掃六、掃五、掃一、掃二、掃三、掃四 (二十日釜

山發—鎮海へ)

知床 (二十日吳發—佐世保へ)

淀 (二十一日秦皇島發—作業地へ)

白鷺、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、

掃一八 (二十一日吳發—演習地へ)

澤風 (二十一日館山發—作業地へ)

蓮 (二十一日蕪湖發—上海へ)

佐多、隱戸 (二十一日「オハ」發—徳山へ)

陸奥 (二十二日伊東發)

(部内限二頁)

海軍公報 第二千八百六十八號

昭和十一年九月二十四日(木)
海軍大臣官房

○通牒

官房第四四八六號

昭和十一年九月二十四日

海軍次官

佐世保鎮守府司令長官
第三艦隊司令長官 殿

海軍集會所設置ノ件申進

左記ニ依リ南支方面行動艦船乗員ノ爲海軍集會所ヲ設
クルコトヲ得ルコトニ定メラレ候

海軍諸例
則登載

記

- 一、南支方面行動艦船乗員ノ會議並ニ陸上ニ於ケル保
健、休養ノ目的ニ供スル爲馬尾ニ海軍集會所ヲ置
ク
- 二、本海軍集會所ハ佐世保鎮守府ノ所管トシ第三艦隊
ニ之ヲ供用ス
- 三、本海軍集會所ハ下士官兵集會所ノ如ク修養、慰

安、娛樂等ヲ目的トスル乗員ノ團體ニ無償使用セ
シムルヲ例トス

○雜款

○將旗移揚
鎮海要港部司令官ハ本月二十二日ヨリ明二十五日迄將
旗ヲ多摩ニ移揚ス

○ 艦船所在

指 定 要 素

○九月二十四日午前十時調

【横須賀】

對馬▲金剛▲大鯨▲高雄▲摩耶▲駒橋、

春日

沖風、矢風、峯風▲曉▲夕霧

伊四▲

富士▲尻矢

(鈴谷)▲(劍崎)▲(高崎)▲

【長浦】

狹霧、汐風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八▲

呂五七▲、呂五九▲

【石川島】

(鴨)

【横濱】

隼

【浦賀】

(五月雨)▲、(山風)▲

【大湊】

大泊

【室蘭】

神風、波風、野風、沼風

【吳】

矢矧▲、韓崎、▽淺間、伊勢▲、天龍▲、最上

夕顔、▽藤、薄、葛

呂五一▲、呂五三▲、呂六八、呂六三、

呂六四、呂三三、呂二六、呂二八、

呂二七、伊七一、伊五一、伊五五

石廊、攝津▲、朝日、襟裳

(蒼龍)▲、(伊七)▲

【大阪】(村雨)▲、(鶴)▲

【神戸】(伊七二)▲、(伊七三)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

(呂三四)▲

【相生】真鶴▲、千鳥▲

(沖島)▲

【江田内】平戸

【舞鶴】吾妻▲

▽友鶴

(春雨)▲、(鴻)▲

【佐世保】赤城▲、加古▲、龍田▲、▽由良▲

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、樞▲、檜▲、菱▲

蕨▲、蓬▲、葦

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲

敷島▲、早鞆、間宮▲、室戸

(夕立)▲

【西戸崎】知床

【長崎】三隈▲

【鎮海】常磐、八重山、嚴島、多摩

▽楡、柿

▽伊二三、伊二四、▽呂六〇、呂六一、

呂六二

▽掃六、掃五、掃一、掃二、掃三、掃四

【旅順】淀

【芝罘】萩

【青島】▽葵、菊

【マンザニヨ】▽八雲、磐手

【演習地】□長門、扶桑、▽榛名、霧島、▽川内、神通、

長良、▽阿武隈、▽迅鯨、▽龍驤、鳳翔、
 □妙高、那智、羽黑、▽青葉、衣笠、古鷹、
 ▽那珂、▽鬼怒、▽加賀、□山城、日向、
 ▽鳥海、愛宕、足柄、▽北上、大井、木曾、
 ▽名取、▽五十鈴、▽長鯨、能登呂、
 □子日、初春、若葉、初霜、□睦月、卯月、
 彌生、如月、□長月、水無月、月、文月、阜
 松風、朝風、春風、旗風、□綾波、浦波、
 敷波、□響、雷、電、□東雲、磯波、吹雪、
 □天霧、朝霧、□疾風、追風、□有明、夕暮、
 □菊月、三日月、夕月、望月、□夕風、島風、
 灘風、□朧、曙、潮、□初雪、白雪、□白雲、
 叢雲、薄雲、
 □伊六三、伊五九、伊六〇、□伊五四、
 伊五三、□伊五七、伊五六、伊五八、
 □伊六八、伊六九、伊七〇、□伊六六、
 伊六五、伊六七、□伊二、伊一、伊三、
 □伊五、伊六、□伊六四、伊六一、伊六二、
 鶴見、鳴戸、
 【作業地】
 勝力、□出雲、保津、▽安宅、熱海、鳥羽、
 勢多、堅田、比良、二見、▽神威、▽夕張、
 球磨、嵯峨、
 □夕風、朝風、□若竹、早苗、吳竹、□芙蓉、

【航海中】

澤風 (二十一日館山發—作業地へ)
 佐多、隠戸 (二十一日「オ」發—徳山へ)
 初雁 (二十二日舞鶴發—若狹灣へ)
 陸奥 (二十三日伊東發)
 白鷹、□掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八 (二十三日六連發)
 □伊二二、伊二一 (二十三日舞鶴發—若狹灣へ)
 野島 (二十三日横須賀發—吳へ)
 比叡、白露、時雨 (二十四日横須賀發—室蘭へ)
 伊五二、□呂六五、呂六六、呂六七 (二十四日舞
 鶴發—若狹灣へ)

刈萱、朝顔、□羽風、秋風、帆風、太刀風、
 梅、蓮、栗、
 膠州、洲埼

(部内限六頁、同別紙二葉)

海軍公報 第二千八百六十九號

昭和十一年九月二十五日(金)
海軍大臣官房

○辭令

(各通)

海軍大尉 石渡 貞良
同 小柴 直貞
東京軍法會議判士ヲ命ス(九月十四日海軍省)

依願免本官(九月十五日同)

海軍造船中佐 畑 敏男
八幡地方ノ監督任務ニ從事スヘシ(九月十四日海軍航空本部)

○雜款

○驅逐艦白露行動豫定

| | | |
|-----|--------|--------|
| 地名 | 着 | 發 |
| 横須賀 | 九月二十六日 | 九月二十四日 |
| 室蘭 | 十月二日 | 十月一日 |
| 大湊 | 十月二日 | 九月四日 |
| 小樽 | 五日 | 九日 |

函館 十日
横須賀 十二日

○英國東洋艦隊所屬軍艦來航豫定中變更(九月十日本欄參照)

ベリツク 寄港地名 着 發 記事

| | | | |
|-----|-------|--------|--------|
| 長崎 | 十月十六日 | 十月二十二日 | 吳港ヨリ來航 |
| 鹿兒島 | 二十三日 | 二十八日 | |
| 横濱 | 三十日 | 十一月十日 | 香港ニ向フ |

メドウェイ外潜水艦六隻
長崎寄港ヲ取止ム
ブルース外潜水艦四隻
基隆寄港ニハ潜水艦三隻ノコトニ變更

○驅逐艦栗行動豫定變更(九月二十二日本欄參照)

| | | |
|-----|--------|--------|
| 地名 | 着 | 發 |
| 佐世保 | 九月二十七日 | 九月二十六日 |
| 上海 | | |

○郵便物發送先
驅逐艦白露宛

海軍公報 第二千八百六十九號 昭和十一年九月二十五日

| | |
|-----------------|-----|
| 九月三十日迄ニ到達見込ノモノハ | 大室 |
| 十月三日迄ニ同 | 小湊 |
| 同八日迄ニ同 | 函館 |
| 同九日迄ニ同 | 横須賀 |
| 其ノ後ハ | |

○事務引繼
 在英造船兵監督會計官九月二十二日事務引繼ヲ完了ス

前任出納官吏 海軍主計中佐 等松 農夫藏
 後任出納官吏 海軍主計少佐 松ノ谷武三郎

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月二十五日午前十時調

【横須賀】

對馬▲金剛▲大鯨▲高雄▲摩耶▲駒橋、

春日、陸奥

沖風、矢風、峯風▲曉▲夕霧、澤風

伊四▲

富士▲、尻矢

(鈴谷)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

区 狹霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

呂五七、呂五九▲

【石川島】

(鴨)▲

【横濱】

漣

【浦賀】

(五月雨)▲、(山風)▲

【大湊】

大泊

【室蘭】

神風、波風、野風、沼風

【吳】

矢矧▲、韓崎、淺間、伊勢▲、天龍▲、最上

夕顔、戸藤、薄、菖

呂五一、呂五三、呂三三、戸呂二六、

呂二八、呂二七、伊七一、伊五一、伊五五

石廊、攝津▲、朝日、襟裳

(蒼龍)▲、(伊七)▲

【大阪】

(村雨)▲、(鵜)▲

【神戶】

(伊七二)▲、(伊七三)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】

真鶴▲、千鳥▲

【江田内】

平戸

【舞鶴】

吾妻▲

【佐世保】

(春雨)▲、(鴻)▲

【赤城】

加古▲、龍田▲、由良▲

【梨】

竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、榿▲、檜▲、菱▲

【蕨】

蓬▲

【呂三〇】

呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、戸呂六〇、

【呂六一】

呂六二

【敷島】

早鞆、間宮▲

【夕立】

三隈▲

【長崎】

淀

【旅順】

萩

【芝罘】

萩

【青島】

葵、菊

【マンザニヨ】

八雲、磐手

【演習地】

長門、扶桑、榛名、霧島、川内、神通、

【長良】

阿武隈、迅鯨、龍驤、鳳翔、

【妙高】

那智、羽黑、青葉、衣笠、古鷹、

【那珂】

鬼怒、加賀、山城、日向、

【鳥海】

愛宕、足柄、北上、大井、木曾、

【名取】

五十鈴、長鯨、常磐、八重山、

【作業地】

嚴島、多摩、▷神威、▷白鷹、能登呂、
 ▷子日、初春、若葉、初霜、▷陸月、卯月、
 彌生、如月、▷長月、水無月、皐月、文月、
 ▷松風、朝風、春風、旗風、▷綾波、浦波、
 敷波、▷響、雷、電、▷東雲、磯波、吹雪、
 ▷天霧、朝霧、▷疾風、追風、▷有明、夕暮、
 ▷菊月、三日月、夕月、望月、▷夕風、島風、
 灘風、沙風、▷朧、曙、潮、▷初雪、白雪、
 ▷白雲、叢雲、薄雲、▷夕風、朝風、▷楡、
 柿、葦
 ▷伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊五四、
 伊五三、▷伊五七、伊五六、伊五八、
 ▷伊六八、伊六九、伊七〇、▷伊六六、
 伊六五、伊六七、▷伊二、伊一、伊三、
 ▷伊五、伊六、▷伊六四、伊六一、伊六二、
 ▷伊二三、伊二四、▷呂六八、呂六三、
 呂六四、▷伊二二、伊二一、伊五二、
 ▷呂六五、呂六六、呂六七
 ▷掃六、掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、
 ▷掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 鶴見、鳴戸
 勝力、▷口出雲、保津、▷安宅、熱海、鳥羽、
 勢多、堅田、比良、二見、▷夕張、球磨、
 嵯峨

【航海中】

佐多、隱戸 (二十一日「オ」發—徳山へ)
 初雁 (二十二日舞鶴發—若狹灣へ)
 比叡、白露、時雨 (二十四日横須賀發—室蘭へ)
 ▷友鶴 (二十四日舞鶴發—若狹灣へ)
 ▷若竹、早苗、吳竹、▷芙蓉、刈萱、朝顔、
 ▷羽風、秋風、帆風、太刀風、梅、蓮、栗、
 膠州、洲崎、室戸、野島、知床

(附録二頁、部内限二頁)

海軍公報附錄

昭和十一年九月二十五日(金)
海軍大臣官房

○雜款

東郷元帥記念事業資金醜出明細表 追加之部

一金壹千五百壹圓六拾壹錢也

內譯

| | | | | | | | |
|---------|-------|--------|------|------|-------|--------|-------|
| 應名 | 金額 | 應名 | 金額 | 應名 | 金額 | 應名 | 金額 |
| 軍令部 | 五五〇 | 在英監督所官 | 五七九〇 | 同 長門 | 三九〇 | 同 熱海 | 二四六〇 |
| 橫須賀海軍工廠 | 四三〇 | 在米同 | 六一四〇 | 同 伊勢 | 二四八五〇 | 同 那智 | 八七三〇 |
| 佐世保鎮守府 | 三〇〇 | 在佛同 | 三三八〇 | 同 出雲 | 四〇〇 | 同 球磨 | 八七三〇 |
| 海軍機關學校 | 四〇四九〇 | 軍艦陸奧 | 六六六〇 | 同 安宅 | 四六六〇 | 同 嵯峨 | 三六三〇 |
| 大阪監督所 | 四〇八三〇 | 同 龍田 | 三三三〇 | 同 赤城 | 二九五七〇 | 特務艦 膠州 | 五六三〇 |
| 上海駐在武官 | 一七三六〇 | 同 韓崎 | 三三九〇 | 同 常磐 | 九四八〇 | 同 大泊 | 一八七六〇 |

海軍公報附錄

昭和十一年三月十日公報附録東郷元帥記念事業資金
出明細表中

| | | | |
|-------|------|--------|------|
| 第三驅逐隊 | 4000 | 第二十驅逐隊 | 4000 |
| 第十驅逐隊 | 6350 | 驅逐艦 夕霧 | 4000 |

| | |
|------------|-------|
| 海軍艦政本部印刷工場 | 16950 |
|------------|-------|

トアルヲ

| | |
|------------|-------|
| 海軍艦政本部製圖工場 | 16000 |
| 健康保険組合本部 | 9150 |

ト訂正ス

海軍公報 第二千八百七十號

昭和十一年九月二十六日(土)
海軍大臣官房

○ 辭令

東北帝國大學教授 石原寅次郎
海軍航空本部ニ於ケル金屬材料研究業務囑託ヲ解ク
(九月海軍省)

海軍中佐 升田 仁助
東京軍法會議判士ヲ命ス(九月十五日同)

海軍大將 高橋 三吉
昭和十一年特別大演習觀艦式指揮官被仰付

海軍少將 野村 直邦
昭和十一年特別大演習觀艦式參謀長被仰付

海軍大佐 宇垣 纏
昭和十一年特別大演習觀艦式參謀被仰付

海軍中佐 石川 信
昭和十一年特別大演習觀艦式副官被仰付

海軍中佐 伊藤安之進
同 朝倉 豊次

(各通)
同 早川 幹夫
同 石原 隼
海軍少佐 前田 清馬

同 扇 一 登
海軍機關中佐 難波規矩男

昭和十一年特別大演習觀艦式參謀被仰付(以上九月二十六日同)

海軍公報 第二千八百七十號 昭和十一年九月二十六日

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月二十六日午前十時調

【横須賀】

對馬▲金剛▲大鯨▲高雄▲摩耶▲駒橋、春日、陸奥

沖風、矢風、峯風▲曉▲夕霧

伊四▲富士▲尻矢

【長浦】_区狭霧 (鈴谷)▲(劍埼)▲(高崎)▲

呂五四、呂五五、呂五六、_区呂五八、呂五七、呂五九▲

【石川島】

(鴨)▲

【横濱】

(隼)▲

【浦賀】

(五月雨)▲(山風)▲

【館山】

澤風

【大湊】

大泊

【室蘭】

比叡

【吳】

_区神風、波風、野風、沼風、白鷺、時雨、夕顔、_区藤、薄、菖

呂五一、呂五三、呂三三、_区呂二六、呂二八、呂二七、伊七一、伊五一、伊五五

石廊、攝津▲、朝日、襟裳

【大坂】 (蒼龍)▲(伊七)▲ (村雨)▲(鶴)▲

【神戸】 (伊七二)▲(伊七三)▲(伊八)▲(伊七五)▲ (呂三四)▲

【相生】 真鶴▲千鳥▲ (沖島)▲

【江田内】 平戸

【舞鶴】 吾妻▲ (春雨)▲(鴻)▲ 赤城▲、加古▲、龍田▲_▽由良▲

梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲樫▲檜▲菱▲ 董▲蓼▲蓬▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、_区呂六〇、呂六一、呂六二

敷島▲、早鞆、問宮 (夕立)▲

【長崎】 三隈▲

【旅順】 淀

【芝罘】 萩

【青島】_区葵、菊

【演習地】_区八雲、磐手

長良、_▽阿武隈、_▽榛名、霧島、_▽川内、神通、_▽妙高、那智、羽黑、_▽青葉、衣笠、古鷹、_▽那珂、_▽鬼怒、_▽加賀、_▽山城、日向

海軍公報 第二千八百七十號 昭和十一年九月二十六日

九三五

【作業地】

▽鳥海、愛宕、足柄、▽北上、大井、木曾、
 ▽名取、▽五十鈴、▽長鯨、▽常磐、八重山、
 巖島、▽神威、能登呂、▽白鷺、多摩、
 ▽子日、初春、若葉、初霜、▽陸月、卯月、
 彌生、如月、▽長月、水無月、皁月、文月、
 ▽松風、朝風、春風、旗風、▽綾波、浦波、
 敷波、▽響、雷、電、▽東雲、磯波、吹雪、
 ▽天霧、朝霧、▽疾風、追風、▽有明、夕暮、
 ▽菊月、三日月、夕月、望月、▽夕風、島風、
 灘風、汐風、▽朧、曙、潮、▽初雪、白雪、
 ▽白雲、叢雲、薄雲、▽夕風、朝風、▽楡、
 柿、葦

□伊六三、伊五九、伊六〇、□伊五四、
 伊五三、□伊五七、伊五六、伊五八、
 □伊六八、伊六九、伊七〇、□伊六六、
 伊六五、伊六七、□伊二、伊一、伊三、
 □伊五、伊六、□伊六四、伊六一、伊六二、
 □伊二三、伊二四、□伊二二、伊二一、
 伊五二、□呂六八、呂六三、呂六四、
 □呂六五、呂六六、呂六七

□掃六、掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、
 □掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八

鶴見、鳴戸

勝力、□出雲、保津、▽安宅、熱海、鳥羽、

【航海中】

勢多、堅田、比良、二見、▽夕張、球磨、
 嵯峨

□若竹、早苗、吳竹、□芙蓉、刈萱、朝顔、
 □羽風、秋風、帆風、太刀風、梅、蓮、栗、
 膠州、洲崎、室戸、野島、知床

佐多、隱戸 (二十一日「オハ」發—徳山へ)
 初雁 (二十二日舞鶴發—若狹灣へ)
 □友鶴 (二十四日舞鶴發—若狹灣へ)

(附三頁、部内限四頁)

海軍公報 附錄

昭和十一年九月二十六日(土)
海軍大臣官房

本邦駐在外國海軍士官名簿 (昭和十一年九月二十日調)

| 國別 | 職 | 官 | 勳 | 氏名 | 現官任命年月日 | 着任年月 (解任後延年月) | 宿所 (電話) | 家族 |
|----|-------|------|----|-------------------|-----------|------------------|-----------------------|----|
| 蘇國 | 大使館附官 | 中佐 | | A. Kovaloff | 同 昭七〇 | 昭七〇 | 麻布、狸穴、一蘇國大使館(赤坂一、一三九) | 夫人 |
| 伊國 | 輔佐官 | 機關中佐 | | K. Gannlich | 同 一〇五 | 同 一〇五 | 澁谷、青葉、七(青山六〇二三) | 夫人 |
| 獨國 | 大使館附官 | 大佐 | | Alberto Ghe | 同 一〇四八 | 同 九一 | 帝國ホテル(銀座三二五一) | |
| 中國 | 大使館附官 | 大佐 | | P. W. Wenneker | 同 一〇四一 | 同 九一 | 澁谷、代々木山谷、三〇三(四谷七〇八二) | |
| 佛國 | 大使館附官 | 上校 | | 劉田甫 | 大正八、五、一五 | 同 九一 | 芝、三田小山、一(三田三三六六) | |
| 英 | 大使館附官 | 大佐 | 瑞三 | J. Rosati | 昭和九、二、一五 | 同 一〇五 | 赤坂、檜、六(赤坂一六一一) | 令嬢 |
| 英 | 大使館附官 | 大佐 | | H. B. Rawlings | 昭和五、一、三〇 | 同 二二二 | 赤坂、臺、一五(赤坂三五五二) | 夫人 |
| 英 | 輔佐官 | 機關中佐 | | A. P. Merriman | 同 一〇、三、三三 | 同 二二七 | 赤坂、青山南、一ノ四八 | 夫人 |
| 英 | 駐在 | 大尉 | | L. C. S. Sheppard | 同 五、八、一 | 同 二二六 | 澁谷、千駄ヶ谷、一ノ三三七 | |

海軍公報 附錄

| 國 | | | | | 米 | | | | | 國 | | | | | | | | | |
|---|---|--------------|----------------|--------------|-------------|-------------|----------|-------------|-------------|---------------|------------------|--------------|----------------|-------------------|------|---|---|---|---|
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 同 | 同 | 中尉 | 海兵大尉 | 同 | 同 | 大尉 | 少佐 | 大佐 | 大佐 | 機關大尉 | 同 | 同 | 同 | 同 | 主計大尉 | | | | |
| 同 | 同 | H. E. Karrer | A. B. Tasswell | F. D. Jordan | J. Finnegan | M. R. Stone | E. Watts | R. A. Ofsie | H. M. Bemis | L. B. Sherman | G. C. D. Currock | K. Forman | A. E. N. Merry | J. P. McIntyre | | | | | |
| 同 | 同 | 昭和七六六 | 同二一六三〇 | 同七六六 | 同六六七 | 同五六二 | 同八七四 | 同七六三〇 | 昭和八八一 | 同七〇一 | 同七六一 | 同六九三〇 | 同六〇一 | 同三二一 | | | | | |
| 同 | 同 | 昭和(三三三) | 同(三三三) | 同(三三三) | 同(三三三) | 同(三三三) | 同(三三三) | 同(三三三) | 昭和(四八九) | 同(一〇六) | 同(一〇六) | 同(一〇六) | 同(一〇六) | 同(八二二) | | | | | |
| | | 赤坂、臺町、四七 | 赤坂、榎坂、五 | 赤坂、榎坂、五 | 赤坂、新坂、四八 | 赤坂、新坂、四八 | 赤坂、新坂、四八 | 赤坂、新坂、四八 | 赤坂、榎坂、一五七 | 赤坂、青山南、六ノ〇一 | 赤坂、市ヶ谷柳、三二二 | 澁谷、千駄ヶ谷、一ノ五七 | 牛込、二十騎、一八 | 牛込、新小川、江戸川アパートメント | | | | | |
| | | | | | | | 夫人 | | 夫人 | | | | | | | | | | |

備考

- (一) 本表ハ武官就任ノ順序ニ依ル
- (二) 本表ノ外兼務トシテ海軍武官ノ職務ヲ執ルモノ
波蘭國公使館附陸軍武官兼海軍武官 陸軍少佐 A. Pzybylski (昭和一〇、二着任夫人アリ)
羅馬尼國公使館附陸軍武官兼海軍武官陸軍大佐 G. Baglioni (昭和一〇、二着任)
- (三) 同空軍武官ニシテ海軍武官ニ準ジ取扱ヘルモノ
英國大使館附空軍武官空軍中佐 R. W. Chappel (昭和一〇、一着任夫人アリ)
麻布、北日ヶ窪、三一(赤坂 四三六)
- 佛國大使館附空軍武官空軍少佐 M. Bruyere (昭和一〇、四着任夫人アリ)
麻布、西、二二(三田 四七五九)
- (四) 同陸軍武官ニシテ空軍武官ヲ兼務セルモノ
伊國大使館附陸軍武官兼空軍武官陸軍參謀中佐 G. Scallio (昭和九、一一着任)